

人気講座が
2日間にパワーアップ！



少人数 18名 限定
実技主体でスキルアップ

頸部聴診法のススめ

① 評価編 & ② リハビリ編

施設・在宅でもココまでできる！
視診・触診・聴診をフル活用！！

「嚥下評価に自信が持てない・・・」「嚥下造影検査(VF)ができないし・・・」「うちはSTがないから・・・」など、嚥下リハに関わるスタッフの悩みは共通しています。しっかり評価できないと、何が必要で必要でないのか見えてこないから困るのです。

しかし、外から見えない咽頭期障害を評価できる「頸部聴診法」を習得できれば、自分の評価に自信が持てるようになり、教科書的な対応に頼った嚥下リハビリから脱却できるはずです。

間接訓練の意識改革をしよう！
誤嚥に負けない土台作り！！

嚥下評価をして食事場面の対応はしたけれど、間接訓練ってこんなのでもいいのだろうかと悩むことはありませんか？嚥下体操をしているがどうも効果が感じられない、認知症で口腔ケアくらいしか関わっていない、肺炎を繰り返しADLが徐々に低下してきている・・・などなど。

嚥下改善には「口腔」「全身」両側面からのアプローチが欠かせません。STが苦手にしがちな筋・関節の知識や触診・ストレッチ・マッサージなどのスキルを身に付けて、間接訓練をブラッシュアップさせましょう。

セミナーポイント

詳しいプログラムは裏面をご覧ください

評価編

頸部聴診・喉頭触診・症例検討を通して病態把握のコツが掴めます。
分かりやすいと好評の嚥下評価表一式もプレゼント！

リハビリ編

嚥下動作を「筋」「圧」から理解すれば間接訓練の意識が変わる。
触診・ストレッチ・マッサージなどの実技を相互実習で習得！

受講者の声

嚥下機能訓練を行う上で、どのような状態なのか考えながらアプローチできると思えました。嚥下音の聞き分けや実際に触診もしたのでとても勉強になりました。
(A病院 言語聴覚士)

開催日程 2019

11/16 (土)
東京会場

11/17 (日)
東京会場

嚥下の評価について細かく触診・視診・聴診内容を症例を通して伝えていただけでよかった。実習や異常音の体験は新人などへの研修で使いたいです。
(B施設 言語聴覚士)

STとしてなかなか行えていない頸部・肩甲帯のリラクゼーションやストレッチを、どういうポイントに留意して行ったらよいかよく分かった。
(C病院 言語聴覚士)

*お申込み方法は裏面をご参照ください

講師紹介



大野木 宏彰 言語聴覚士

岐阜赤十字病院を経て、小笠原訪問看護ステーションにてリハビリ部門を立ち上げている言語聴覚士。頸部聴診法を用いた嚥下評価に力を入れており、メディカ出版から「頸部聴診法トレーニング」(2011年)、「嚥下の見える評価マニュアル」(2014年)を出版。院内外の摂食嚥下講習会講師や岐阜摂食嚥下多職種連携研究会世話人を務めるなど、地域の高齢者在宅ケアの充実を目指し活躍中。

日本摂食・嚥下リハビリテーション学会認定士・介護支援専門員

主催 ラックヘルスケア株式会社

コース	【土曜日】評価編	【日曜日】リハビリ編
概要	<p>本セミナー(評価編)では、嚥下の見える評価、つまり病態の把握できる評価を目指します。そのためには、従来の「教科書的な知識」の殻を破る必要があります。</p> <p><u>「嚥下障害ってこういうことか！」と実体験しながら、もう一回「嚥下」を見直すことで評価のポイントがはっきりと見えてきます。動画をふんだんに利用した講義と相互実習を主体に、視診・触診・聴診をフル活用した評価のコツを学びましょう。</u></p> <p><u>「5つの異常音」という判断基準を持つことで、咽頭残留や嚥下反射遅延といった病態イメージがしっかりつかめます。研修内容を症例検討を通してアウトプットすることで、「これならできそう!」「次から意識してやってみよう!」など、明日からの臨床にポジティブなイメージが湧いてくるはずですよ。</u></p>	<p>本セミナー(リハビリ編)は、嚥下リハビリの実際や具体的な手技を学びたいという要望に応え、評価後のアドバンス編として企画しました。</p> <p><u>舌筋・舌骨筋の働きや嚥下圧の仕組みを触診・体験実習で理解し、間接訓練に活かしていきます。注目されている舌圧訓練や呼気抵抗訓練の簡単な実践法も紹介。また、嚥下改善にはターゲットの土台からのアプローチが重要となります。頭頸部の姿勢改善のためには肩甲帯から、舌運動改善のためには舌骨筋群からアプローチできるように、触診・ストレッチ・マッサージ手技を相互実習を通してしっかり身につけましょう。</u></p> <p>高齢者に誤嚥はつきもの。残念ながら誤嚥を完全に防ぐことなどできません。だからこそ、しっかり評価を行って誤嚥リスクを軽減させつつ、誤嚥に負けないカラダを作るアプローチを実践していきましょう。</p>
内容	<ol style="list-style-type: none"> 1、「嚥下の見える」評価をするために必要な視点 -「スクリーニングテスト」「30度神話・ゼリー神話」の殻を破ろう！- 2、なるほど納得！目からウロコの嚥下“体感”講座(実習)「嚥下障害ってこういうことか！」と3つの嚥下機能を体で感じる 3、頸部聴診法を“自信を持って使える”技術にしよう！ -5つの異常音で咽頭クリアランスと嚥下反射のタイミングを把握する- (実習)正常音？異常音？ 耳を鍛える聴診トレーニングの実践 4、嚥下の見える評価マニュアルの取説 -3つの嚥下機能・6つの嚥下障害タイプ・10の評価項目を押さえよう！- 5、教科書では学べない評価ポイント“虎の巻” (実習)すぐに使える喉頭の触診を完全マスター 6、いざ実践！症例検討 (実習)評価表記入と3つの嚥下機能の予測・推測の実際 (実習)食事形態や介助方法など、実際のアプローチを検討 	<ol style="list-style-type: none"> 1、「嚥下」改善に必要なアプローチとは？ -嚥下評価後の食事対応・指導の実際- -評価から読み解く！病態別のリハビリポイント- 2、間接訓練に活かすための嚥下の解剖・メカニズム(実習)触診・視診で咀嚼筋・舌筋・舌骨筋の働きを把握しよう (実習)嚥下時の陰圧・陽圧の重要性を体験 3、後頸部・肩甲帯のリラクゼーションスキル -前頸部へのアプローチ前にココを押さえよう！- (実習)シールやテープで触診ポイントを確認 (実習)座位・側臥位でのストレッチ・マッサージ 4、嚥下関連筋を「緩める」「鍛える」口腔リハビリ(実習)舌骨筋ストレッチ・トレーニング手技 (実習)施設・在宅でもできる舌圧訓練・呼気抵抗トレーニング 5、いい食事姿勢のためのワンポイントアドバイス -知っとくと便利！楽にできる移乗・移動のコツ- (実習)全介助2パターンとベッドでの上方移動 -下肢・体幹のリハビリで座位姿勢を安定させる- 6、まとめ
日時	2019年11月16日(土) 10:00~16:30	2019年11月17日(日) 10:00~16:30
受講料	18,000円★早期割引(2019/10/16まで)⇒17,000円	18,000円★早期割引(2019/10/17まで)⇒17,000円
定員	先着18名	先着18名
会場	<p>ラックヘルスケア株式会社東京オフィスセミナールーム 東京都港区芝3-43-16KDX三田ビル11階 * 都営地下鉄大江戸線「赤羽橋」駅徒歩約6分/ 都営地下鉄三田線、浅草線「三田」駅徒歩約7分/ JR山手線、京浜東北線「田町」駅徒歩約9分</p>	

★申込方法:ラックスクールホームページよりお申込ください 土曜日・日曜日単体でのお申込みも可能です。



ラックスクール専用サイト(パソコン) <http://lac-school.com>

お問い合わせ

ラックヘルスケア株式会社 TEL 03-6809-5701 受付:セミナー担当